

赤潮情報（２）

令和３年６月８日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

６月７～８日に調査を行った結果、豊前海全域で有害プランクトンの一種であるシャットネラ属（*Chattonella* spp.）の増殖が先週に引き続き確認されました。分布域が拡大傾向にありますので、今後も十分な注意が必要です。

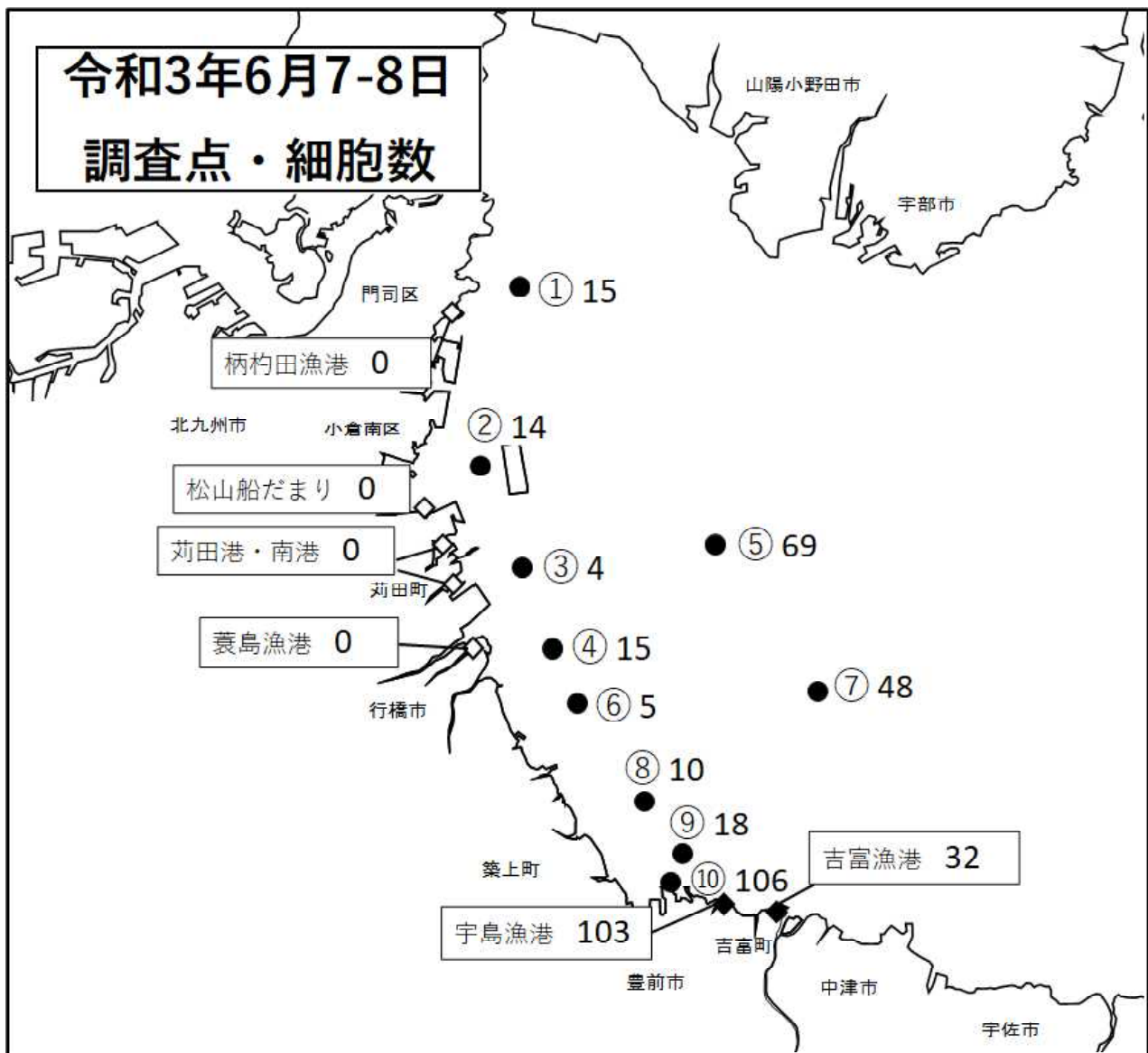
< 有害プランクトンの状況 >

- シャットネラ属（*Chattonella* spp.）は、豊前海では通常６～８月頃に発生し、海水１ccあたりおよそ１００細胞程度に増えると魚がへい死する恐れがあるプランクトンです。
- 本種は海水１ccあたり５００細胞以上になると、海水の変色が目視できますが、変色が確認される前の低密度の状態でも漁業被害が生じる恐れがあります。また表層の変色がなくても中層～底層に移動して増殖している場合がありますので、海水の変色が見られない場合でも注意が必要です。
- へい死の恐れがありますので、漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。また変色域付近ではスカッパを閉めて航行するなど、活け間の魚の状態にも注意してください。

< 今後の状況 >

- 今後の天候次第では、本種がさらに増殖する可能性があります。豊前海の広範囲で確認されていますので、今回の調査で未確認だった場所でも十分な注意が必要です。研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報には十分ご注意下さい。

漁業被害、海水の変色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：恵崎、後川）までご連絡下さい。



	調査点	シャットネラ細胞数 (細胞数/海水1ml)	採水層 (ChI極大層)
①	柄杓田地先	15	5m
②	人工島西	14	B-1m
③	苅田地先	4	5m
④	蓑島地先	15	B-1m
⑤	行橋市沖合域	69	B-1m
⑥	稲童地先	5	5m
⑦	豊前市沖合域	48	5m
⑧	椎田地先	10	B-1m
⑨	宇島地先	18	B-1m
⑩	八屋地先	106	B-1m

図 シャットネラ属細胞数（海水1ccあたり）

